

8月の出来事

- 時事
- 1日 75歳以上人口1割超す、平均寿命過去最高
  - 5日 2007年度食料自給率40%、13年ぶり上昇
  - 各地で豪雨被害相次ぐ(ゲリラ豪雨)
  - 8~24日 北京オリンピック開催
  - 11日 水泳北島世界新で連覇
  - 山梨県中央会ニュース
  - 5・7日 組合実務講習会
  - 23日 甲府大好きまつり

9月の予定

- 9日 正副会長会議

紙面から

- 2面 施策情報/息吹
- 3面 景況情報/業界の声
- 4面 アクティブ組合
- 5面 労改連通常総会/実務講習会
- 甲府大好きまつり
- 6面 教えて!?!/ただいま研究中
- 7面 情報BOX
- 8面 インターンシップ体験記/情報BOX

発行所 山梨県中小企業団体中央会  
 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階  
 TEL 055(237)3215(代) FAX 055(237)3216  
 http://www.chuokai-yamanashi.or.jp  
 e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

山梨県中小企業団体中央会機関誌 平成20年度中小企業組合活性化情報



9月1日(月曜日)2008年 第620/197号(毎月1日発行)  
 定価100円(昭和36年4月10日 第三種郵便物認可)



シチズンセイミツ(株)に於いて記念撮影



(株)エノモト塩山工場でのオリエンテーション

本事業は、山梨労働局から委託された若年者の雇用対策事業「若年者地域連携事業」の一環として実施したもので、山梨の基幹産業である製造業の現場において、若者に「も」をつくる企業「の意気込みと魅力を肌で感じてもらい、世界で勝負できる先端技術・知識を習得すること。また、「も」のづくりについての興味や意義を理解し、生涯に渡って専門能力を追求し続けるス

「参加して良かったですか?」の質問に対して「良かった、大変良かった」が参加者全員であり、満足度の高い実施結果となった。また参加者からは、「工場のライン作業や会社の雰囲気を実感することができた。」「地方にも世界と競争できる会社があることに驚いた。」などの感想もあり、満足げな様子だった。

本事業は、山梨労働局から委託された若年者の雇用対策事業「若年者地域連携事業」の一環として実施したもので、山梨の基幹産業である製造業の現場において、若者に「も」をつくる企業「の意気込みと魅力を肌で感じてもらい、世界で勝負できる先端技術・知識を習得すること。また、「も」のづくりについての興味や意義を理解し、生涯に渡って専門能力を追求し続けるス

訪問先の3社は、いずれも山梨県を代表する製造業であり、品質に関する国際基準ISO9001の認証取得、環境に関する国際基準ISO14001を認証取得するなど地球環境や地域社会に貢献できる企業を目指し、さらに将来を担う若い技術者の職業意識の醸成に育んでいることから、本事業の受け入れにも全面的な協力をいただいた。

電子機器製品事業、産業用機械事業、自動車部品事業、山梨日本電気(株)は、ブロードバンドネットワーク事業、光デバイス事業、海洋システム事業、(株)エノモト塩山工場は、コネクタ事業、モールド事業、リードフレーム事業の内容・経営理念・雇用形態・雇用環境等の説明を受けた。その後、工場見学では最新鋭の機械やコンピュータ制御機器を導入した先端技術による加工、表面処理、組立それらに従事する社員の作業などの労働環境等を見学した。

山梨県中小企業団体中央会では、8月7日、若者ものづくりの魅力発見ツアー(主催 ショップカフェやまなし、実施機関 中央会)を開催した。県内企業のシチズンセイミツ(株)・山梨日本電気(株)・(株)エノモト塩山工場の3社を、高校生や大学生ら22名が訪問した。

平成20年度  
**若者ものづくりの魅力発見ツアーを開催**



会社の概要などを説明する山梨日本電気(株)取締役眞壁氏

# 中小企業融資の資金供給の円滑に向け、金融庁が検査方針を発表

金融庁が先月19日に発表した最新の検査方針において、原油・原材料高による厳しい経営環境にある中小企業に対し、資金供給の円滑化に取り組む方針を明らかにした。中小企業融資の円滑化には、一般の債権より支払い順位が低い「劣後(れつご)ローン」の活用を図る。金融機関が融資先の査定時に劣後ローンの債務を自己資本とみなせることから、金融機関の審査で融資が難しいと判断された中小企業の貸し渋り対策となり、円滑な資金供給を促す。

## 検査重点事項

金融機関を取り巻く内外の経済・金融環境が大きく変化する中、金融機関においては、全体の収益目標およびそれに向けたリスクテイクや人的・物的資源配分の戦略等を明確にした戦略目標を定め、それを踏まえた適切なリスク管理を行うことが強く求められている。

このため、金融機関の経営陣においては、一層自らの経営管理(ガバナンス)態勢の整備を図る必要があるが、検査においては、金融機関が戦略目標に即した適切な法令等遵守態勢及びリスク管理態勢を整備しているか、金融機関全体を貫く経営管理(ガバナンス)態勢が有効に機能しているかに注目して深度ある検証を行う。

## 円滑な中小企業・地域金融に向けた対応

我が国経済の基盤を支える中小企業に対する円滑な金融は、金融機関の最も重要な役割の一つである。原油・原材料価格の高騰等により、中小企業をめぐる環境が厳しさを増す中、特に、地域経済における拠点としての役割も担う地域銀行、信用金庫、信用組合などの地域金融機関には、自らの責任と判断により適切かつ積極的にリスクテイクを行うとともに、それにふさわしい適切なリスク管理態勢を整備することを通じて、地域における金融仲介機能を積極的に発揮していくことが強く期待されている。

金融庁においても、「成長力強化への早期実施策」に沿って、中小企業金融の円滑化や地域産業の再生の観点から、様々な施策に取り組んでいるところである。検査にあたっては、こうした取組も踏まえ、金融機関において、適切なリスク管理をベースとして、中小企業の実態を踏まえた円滑かつ積極的な金融仲介機能が発揮できる態勢が構築されているか検証する。

## 円滑な金融仲介への対応

金融機関による中小企業への融資の判断・評価に際しては、中小企業の経営・財務面の特性等を十分に踏まえた適切な実態把握を行うことが重要である。こうした観点から、エンドユーザーである中小企業の経営者等に対し、金融検査マニュアル別冊(中小企業融資編)の周知・広報を更に徹底し、中小企業の資金調達面での活用を支援する。

また、金融機関の中小企業への資金供給に向けた態勢整備の検証に際しては、同マニュアル別冊の趣旨を踏まえた融資態勢となっているかどうかを重視し、中小企業に対する金融仲介機能の十全なる発揮を促す。その際特に、融資先の赤字や債務超過、貸出条件の変更といった事実のみで判断するのではなく、経営・財務の特性等を十分に踏まえた上で融資判断・リスク管理を行っているかに注目する。あわせて、不動産担保や個人保証に過度に依存せず、事業価値を見極める融資手法など、中小企業に適した資金供給手法の取組事例については、積極的に評価し、金融検査評定にも明確に反映させる。

## 中小企業の事業再生等への対応

地域金融機関は、中小企業の事業再生や地域再生の取組に際して中核的な役割を發揮することが期待されている。これまでも、地域金融機関が、関係先と連携し、経営改善計画の策定を通じた継続的な経営指導等に取り組む、大きな効果を挙げている事例が見られる。また、本年3月の金融検査マニュアルの改訂により、十分な資本金の性質を有する劣後ローン等の借入金を債務者区分の判定において資本とみなすなど、対象企業の資本強化を通じた経営安定を図るためのツールも逐次整備されてきている。

このような地域金融機関の取組や経営安定を図るためのツールの活用を促進する観点から、中小企業の事業再生等に向けた取組実態を検証し、優れた取組や創意工夫については、金融検査指摘事例集により広く周知を図るとともに、検査において積極的に評価し、金融検査評定にも明確に反映させる。

## 食料自給率

世界的な食料価格の高騰で、日本でも食料危機が訪れるのではないかと危惧されており、食料自給率を上げようと言われている。

食料自給率は、国内で消費される食料のうちどの程度、国産でまかなえるかを示しており、カロリーベース(食料に含まれるカロリーを用いて計算)と生産額ベース(価格を用いて計算)がある。一般には、カロリーベースの数値が使われている。

農林水産省が発表した、平成19年度の食料自給率は、カロリーベースが前年度の39%から1ポイント増加し40%。生産額ベースが前年度から2ポイント減少し66%となっている。

日本のカロリーベースの自給率は、昭和40年度には73%あったが、平成18年度は39%まで低下した。先進国では最低水準である。

自給率が下がったのは、日本人の食生活の変化であり、畜産物、小麦、油脂類の輸入が増え、日本人がパンや牛肉をよく食べるようになったからである。

カロリーベースでは、代表的な和食メニューが自給率63%。洋食メニューが自給率28%。カロリーがほぼ同じなのに大きく離れている。米の自給率が、94%なので和食が高くなるわけである。

現在の基本計画では、食料自給率(カロリーベース)を45%まで高める目標を立てているが、農林水産省は食料価格の高騰に対応するため目標を50%に引き上げる方針を固めた。

食料の多くを輸入している日本。日本人の食生活を見直すとともに食べ残しや食品廃棄の問題も考えながら、自給率が上がるように努力して行く必要がある。

参考までに、山梨県の食料自給率はカロリーベースで20%(平成18年度)、生産額ベースで92%(平成17年度)となっている。

ibuki 息吹



データから見た

# 業界の動き



山梨県中小企業団体中央会

情報連絡員報告(平成20年7月分)

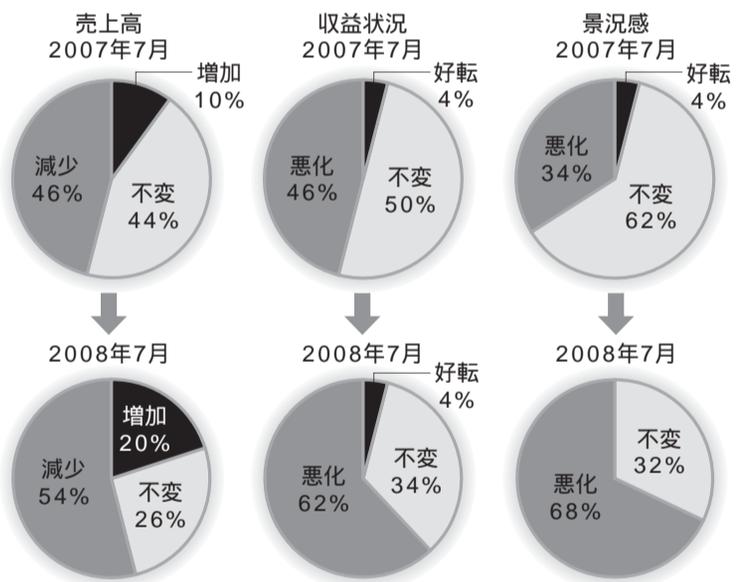
本県の7月の景況は、全業種のDI値で見ると、売上高は-34(前年同月比+2)、収益状況は-5(前年同月比-16)、景況感では-68(前年同月比-38)と前年同月と比較すると売上高でわずかにポイントが回復しているものの、好転の材料とは言えない。

全体ではマイナス傾向が続いている。業種別では、製造業のDI値が、売上高では-4(前年同月比-20)、収益状況は-60(前年同月比-30)、景況感では-65(前年同月比-35)となっている。非製造業のDI値においては、売上高は-3(前年同月比+17)、収益状況は-57(前年同月比-7)、景況感では-70(前年同月比-40)となっており、売上高のポイントが17ポイント伸びている。

しかしながら、これは、一部の小売業やショッピングセンターから暑さやオリンピック等の影響による売上げの伸びが報告された一方で、製造業や建設業においては、上昇した原料、資材等のコスト上昇が売上高アップに繋がっただけで、実質的な売上げ上昇とは言えないことが、DI値の推移に表れている。

全体、業種別の景況感については、DI値が前月と全く同様という結果となり、取り敢えず前月を維持する形の足踏状態となった。しかし、原油高・原材料費等の高騰の影響は依然続いており、さらなる中小企業の経営悪化が懸念される。

データから見た業界の動き(平成20年7月分)



## トピックス

**原油価格高騰に端を発する燃料費・原材料費・諸物価の高騰が続いている中、今回は業界において取引条件や販売条件(仕入価格・販売価格・支払条件など)にどのような変化や影響が出ているかについて調査した。**

「大手メーカー・大手小売店が使用原材料の指定や価格決定権を有している。取引相手も不況にあり、コストアップ分を転嫁できない。得意先から決済条件の変更(現金から手形)を求められたが拒否した。メーカー卸への支払条件が厳しくなった(手形決済から現金取引・支払サイクルの短縮)。取引先からの入金遅延が見られる。取引に対する不安感が高まり、信用不安がかえって高値取引を誘導する傾向も出ており、取引条件が悪化している。支払サイトの長期化、手形のジャンプ、現金支払比率の低下などが増えており、支払条件が悪化している。など」の回答があった。

ほぼ全ての業種で燃料費・原材料費などのコスト上昇分を、価格

転嫁できない、転嫁しきれないという現状があり、在庫回転率、稼働率を上げること、ようやく売上確保を図っている状況も見受けられる。受注から納入までが長期となる建設業界などでは、コスト上昇分を価格に転嫁したいものの、吸収仕切れず利益計画を組むことも困難となっている。また、製品・商品によっては価格転嫁できる状況にあるが、先行きの不透明感や不安から消費者需要などの状況も見られ、企業側の努力だけでは対応できない現状となっている。

## 業界から一言

### 製造業

食料品(水産物加工)・原油・諸物価高騰のため中元の見直しが見られ、高値商品が不調。カタクダグ販売は倍増(ウエイトは低い)だが、百貨店向け中元ギフトは売上大幅ダウン。

食料品(洋菓子製造)・夏季商品であるゼリー関係は不調。大手メーカーが委託生産を増加し、OEMの好調が全体売上に押し上げ。

食料品(ワイン)・国産ワイン・コンクールの結果発表を受け、問い合わせが増加。今年度のブドウの出来について天候を注視。

繊維・同製業(織物)・景況感の悪化、先行きの不安感のため、店頭でのバーゲン物の動きは良いが今まで安定していたトップブランドの動きが悪い。建築業界の落ち込みに連動し、インテリアが急激に悪化。

繊維・同製業(ニット)・衣料品の店頭での販売が高価格品・中低価格品とも落ち込んでいる。取引先である専門店・アパレルが余分な在庫を持たず、実需に合わせた仕入をしているため、店頭での商品の販売動向が直接影響。

鉄鋼・金属・半導体関係は全盛期の4分の1の売上。建設関係は、材料の高騰により契約単価に反映できず赤字。電気機器・金融機関の引き締めが厳しい。

非製造業  
小売(SC)・宝石・貴金属関連を除く売上は好調。ガソリン

の高騰は、広域からの消費者及び観光客の集客に影響。

小売(青果)・他の食品が値上がりする中、野菜は価格の低下が続いている。猛暑で入荷が増えたが、消費者の購買意欲は著しく低下している状況。

小売(肉類)・銘柄豚、フジザクラボークの品薄から、豚肉相場が他県に比べ1キログラムあたり200円も高くなり、地産地消を進めてきたスーパーを中心に市場の豚肉価格が高騰。

小売(電機製品)・猛暑の影響から季節品を中心に推移。エアコン、薄型テレビ、冷蔵庫、洗濯機は順調に推移。特にエアコン、冷蔵庫は省エネ商品が人気。

小売(石油)・産油国の政情と為替レートの円安ドル高により、元売各社が卸値を11円値上げしたため、各給油所は11円を小売価格に転嫁。8月はリットル7円程度の値上げを予想。

ある海外旅行が敬遠され、国内旅行に流れている状況。料金の値上げは難しいため、何とか稼働率を上げ売上高を保つように努めている。

建設業(総合)・第1四半期に発注が少なかった分、第2四半期以降の公共工事はこれから徐々に発注量が増加すると予想。しかし原油価格の高騰分はすべての資材に転嫁されている状況。

建設(住宅関連)・新築の引き合いはほとんどなく、リフォーム・少額工事でのいでの状況。

設備工事(電気工事)・材料の値上がりにより、工事収益計画が立たない案件が出てきている。

設備工事(管設備)・資材の値上げがあり、来月も予定。ステンレス・バルブ等の価格は1年前と比べ2倍に。官公需は減少。

# 業界の



協同組合山梨県ジュエリー協会

理事長 松葉 惇氏

## 業界の現況は？

山梨県は300年以上前から宝飾産業が盛んであり、世界でも5本の指に入るといわれるほどの宝石の町です。しかし、全盛期と比較すると売上高が40%減少するなど非常に厳しい状況となっております。これは、世界的なジュエリー不況の他に、国内における石(加工前)と宝石(完成品)の輸入額が2007年に初めて逆転したように、宝石加工が海外(主に中国)に移行したことが原因として考えられます。また、地金の金額が大幅に高騰しているため、赤字経営の業者が急増し、多くの宝飾業者が廃業に追い込まれております。

## 今後の展開は？

日本は世界でも有数のジュエリー消費国であるため、国内の顧客に目を向けることが先決です。また、ジュエリー業界は加工業であるために、卸先である小売業者との関係性は考慮するものの、実際にジュエリーを購入する消費者のニーズには無頓着なケースがあります。そのため、山梨の宝飾業界では産地ブランドプロジェクトとして、koo fuプロジェクトを立ち上げました。koo fu(クーフ)とは、商品と産業が取り組む事業全体を示す産地ブランドとして考えられ、ダイレクトに甲府をイメージせず、無国籍のような響きとして表現されています。

「koo fu」プロジェクトでは、山梨の産地特性を活かした素材、技術及びデザイン等でブランド価値を高めるため、koo fuコレクションの開発などを積極的に進めております。すでにオリジナルブランド「koo fu」Pt950などを使用したものを2008年度コレクションとして発表しており、多くの消費者から「koo fu」ブランドの宝石が買いたいと思わせるようなブランド価値向上に取り組み



「Koo-fu」コレクションのロゴ (白地に青字)

TOPICS

石和温泉旅館協同組合

「鵜飼と連夜花火を愉しむ  
夏祭りの宵」を開催  
ACTIVE KUMIAI



伝統漁法「徒歩鵜」

中、浴衣姿の団体客や親子連れなどそれぞれ楽しんでいました。なお、石和温泉では、9月以降も、「ナイトワイナリーツアー」や源泉足湯ひろばを活用してのイベントを計画している。

石和温泉では、夏休みに石和温泉を訪れる観光客に夕涼みをしながら愉しんでいただけのようなイベントを実施した。「稚鯉すくい」は、全長18mの水槽で錦鯉の稚鯉をボイすくすものである。稚鯉は大切に育てれば、一攫千金?になるので、楽しみながらも真剣に取り組んでいた。また、「恋鯉コイン」は、水槽の中のグラスにコインを入れるゲームであるが、水の揺らぎによりコインが不規則な落ち方をするため、なかなか入らないので、参加者は恋の成就、商品ゲットを目指して奮闘していた。



鵜飼を楽しむ観光客

TOPICS

山梨県宝石研磨工業協同組合

第54回ジエムストーンフェア  
in KOFU  
ACTIVE KUMIAI

このような中で、今回の展示会は、来場者数が減少したわりには売上の減少が少なかったとのことで、展示会に向けて、各組合員が新商品開発に取り組み、ジュエリーメーカーなどへの企画提案に力を入れた結果が成果となったとしている。



来場者で賑わう会場



内藤会長も参加したオープニングセレモニー

今回は、組合員24社協賛企業6社の30社が出演した。ジエムストーンフェアは、研磨組合の組合員の販促促進を目的に、昭和55年9月の組合創立とともに、第1回研磨新作見本市を開催して以来28年を経過し、素材提供者の見本市として定着しており、県内外から多くの業界関係者を集めている。山梨の研磨技術は、江戸時代からといわれ、伝統の技術に現在までの技術を積み重ねてきており、この研磨技術を含めて宝飾品の産地山梨が形成されている。しかし、昨今の景気低迷により、宝飾品の売上は減少しており、輸入製品との競争など、宝石研磨業界もその影響を受けている。

山梨県宝石研磨工業協同組合 小田切富男理事長(左)は、7月8日・9日の両日、中巨摩郡昭和町のアビオにおいて、第54回ジエムストーンフェア in KOFUを開催した。このフェアは、宝飾品の素材となる宝石・貴石等の研磨石製作者による展示会で、ジュエリーメーカーやデザイナーを対象に開催されている。

TOPICS

甲府・オリオン通り商店会

商店街の活性化を目指して!!  
ACTIVE KUMIAI



オリオン通り南部外観

当該商店街でもこれを機により強力に商店街活動を推進するため、旧アーケードを解体し、新たなオリオン・スクエア整備事業に着手。近接事業者とともに連携しながら、新たな戦略、効果的な事業活動を展開していくことにより、甲府中心市街地の活性化、更には、地域全体の商業の発展と専門店ゾーンとしての魅力創出の実現を目指している。

甲府オリオン通り商店会 奥石陽会長(左)は、甲府の中心商店街の活性化と県内最強の専門店ゾーンを目指して、商店街の様々な整備事業などを模索・検討している。オリオン通り商店街は、昭和23年に検事正宿舎跡に建設され、当時、町内にあった戦後復興の象徴ともいえる映画館「オリオンパレス」にちなんで名付けられた。以降高度成長時代の中、来街客の利便性を高めるために昭和31年にヨシズ張りのアーケードを設置。その後、現在の鉄骨アーケードに建て替えられ現在に至るまで多くの来街客に親しまれてきた。

しかしながら、時代の変化とともに郊外型商業集積の時代となり、消費者行動は中心市街地での買物から郊外型大型店での買物へとシフト、甲府市中心部も衰退に歯止めがかからず、抜本的な対策を講ずることが求められてきた。

このように甲府中心市街地の活性化が模索される中で、平成19年には、甲府紅梅地区再開発組合が設立され、当該商店街に立地する大型店パセオと隣接する県営駐車場を一体化する再開発事業が現実のものとなった。この事業は、甲府市中心市街地の衰退に歯止めをかけ、活性化へ導く大事業とされている。



工事現場の防音壁を使った風景画

# 山梨県中小企業労務改善団体連合会 通常総会を開催

山梨県中小企業労務改善団体連合会(大宮山磐会長)は、7月2日(水、甲府市)中央会研修室において、平成20年度通常総会及び特別講演会を開催した。

午後3時から行われた通常総会には各地区の連合会より約40名が参加して開催され、11月に開催する「活力ある職場



土橋久忠先生

づくり推進運動山梨県大会」連合会財政基盤強化のための共済業務提携事業及びリサイクルトナー活用推進事業の実施などについて決議された。

また、18年度より山梨県から委託を受けて実施している「仕事と家庭の両立支援事業」を連合会の中心事業として引き続き実施する。

この事業では、就業規則の整備、労務相談を中心に、講習会の開催と専門家の派遣による個別相談を行うことから、会員事業所への積極的な活用を呼び掛けた。

総会終了後には、山梨学院大学/山梨学院短期大学就職課・キャリアセンター課長の土橋久忠氏を講師に招き、「学生の就職活動と魅力ある企業とは...」をテーマに、労働セミナーが行われた。

セミナーでは、平成生まれの新入生を迎え入れる時代となり、社会変化の多様化、大学生の学習意欲と学力の変化、その一方で労働市場も大きく変化している。今後、採用する大学側・企業側の特徴や魅力などをアピール強化していかなければならないなど、日頃の大学生就職支援の立場から得た知識をもとに体験談を中心に説明が行われた。



熱心に聞き入る会員の皆さん

## 「組合運営・管理に一役」 「組合実務講習会開催」



8人の組合事務担当者が参加

山梨県中央会主催による組合実務講習会が、7月24日開講により5回シリーズで開催された。例年、組合総会シーズンも終わり、組合事務局等関係者が、総会後の事務手続を行っている時期に合わせ開催しているもので、中央会若手指導員が講師を担当している。

講習会では、組合運営や管理上必要と思われる「組合法・団体の重要条文7/24」「定款の読み方と重要条文7/29」「総会・理事会における招集手順と運営7/31」「法人登記をやってみよう8/5」「組合における各種届出義務8/7」の5つのテーマで行われ、8人の組合事務局関係者が熱心に聴講した。特に今回は、昨年度中小企業組合制度が改正され組合運営方法が大きく変わったこと受け、講習内容も大幅に修正したことから、受講者より「改正組合法により漠然と不安に思っていたことが今回よくわかった」との評価の声も聞かれた。中央会では、組合事務局強化の次のステップとして、組合士制度の活用も推進しており、11月頃「組合士受験対策講座(検定試験は12/7)」を開催予定である。



総会・理事会の招集手順について講師から説明を受ける受講生

「第20回甲府大好きまつり2008」(同実行委員会主催)が8月23日(土)に甲府市の舞鶴城公園及び中央商店街をメイン会場に、あいにくの雨の中開催された。この祭りは、より多くの市民が参加して楽しむことにより、まつりを通じて郷土愛を醸成し、市民が誇りに思えるような市民まつりの構築を目指して行われている。

20回記念のまつりを盛り上げるべく、協賛金を募り、多くの企業・団体の協力のもとパージョニアックしたイベントが行われた。今回は、甲府の将来を担う子供たちにまつりを楽しんでもらえるよう、舞鶴城公園には、ウォータースライダー付きの巨大プールを設置した。また、サンリオの創業者が山梨県の出身であることから、キャラクターを甲府の活性化に活用しようという動きもあり、「ハローキティ握手会」、パレード、表彰式などに着物やドレスを着たキティが登場し、子供たちが満面の笑みを浮かべて参加した。



ウォータースライダーを楽しむ

工作コーナーでは、夏休みの宿題の仕上げに真剣に取り組む子供たちの姿が見られた。青年中央会が今年も参加し、屋台コーナーで焼きそば、フランクフルトを提供したところ好評で、フィナーレ後も客足が途絶えなかった。まつりのフィナーレをピート・ロビートの優勝チームの演奏と花火の競演が飾ったが、花火の音と光音楽とダンスの躍動感がマッチし、盛大のうちにまつりは終了した。



トラックづくりに真剣な子供

## 第20回 甲府大好きまつり開催

# 「教えて○○!!」

## 其の五

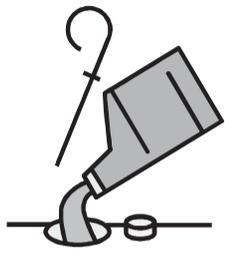
### 「手軽に行う、クルマのチェック」の巻

クルマでどこか遠出したり、通勤、買い物などでクルマを利用したりと、様々な用途で使用していると思いますが、クルマは機械です。当然疲労もするし、不調を起こすこともあり得ます。こうしたトラブルを未然に防止し、本来の性能を維持するためにはメンテナンスが欠かせません。ヒトと同様、夏バテしたクルマのリフレッシュを図ってみたいいかがでしょうか?

このコーナーは、日頃の疑問や意味がよく分からない業界用語、ちょっと気になる情報、知っていると得する豆知識等々を紹介いたします。

#### 気軽に出来るメンテナンス箇所をピックアップ

ジャッキを使ってクルマの下に潜り込んで...といった作業ではなく、誰でも簡単に行えるクルマの確認作業があります。例えば、視覚でチェック。エンジン内の潤滑油、冷却液、ウインドウウォッシュ液、ブレーキフルード、スモークランプ、ブザー、ブレーキランプ、ウインカー、ポジションランプなどの量・色・玉切れ確認。一方、触覚で、タイヤの空気圧、ワイパー・ワイパーゴムの確認作業。この一連の作業だけなら10分程度で行えます。12ヶ月点検などの他に、定期的に行うべきチェックを行えば、ちょっとした変調にも気が付きやすくなるはずです。



クルマは意外と電気を食う。その重役を担っているのがバッテリーです。その他にもエアコン、ハ

ッドライト、ワイパー、オーディオ、カーナビなどの電装品でも電気を消費しています。例えば、渋滞につかまって、エアコン、オーディオ全開でワイパーやヘッドライトなども使用して...といった状況なら、バッテリーに充電されず、いずれエンジン止まる可能性が高くなります。ちなみに意外と電力を消費するのがブレーキランプ。エアコン、リアデフォッガーに次いで消費電力量が多いのです。



#### 豆知識

ガソリン価格が高騰する中、燃費を悪化させないためには自助努力が大切です。例えば、タイヤの空気圧の確認、ゴルフバッグなど余計な荷物は積まない、急発進・急加速は避ける、などといった簡単な取組でエコな運転に繋がります。



山梨大学 研究室訪問  
第22回

このコーナーは、「地元大学と中小企業の橋渡しのきっかけ」と、山梨大学の先生と研究を紹介するために企画されたものです。紹介にあたっては、中央会の職員が大学の研究室におじゃまし、できるだけ分かり易い言葉で記事を書くようにしています。そのため、研究内容が正確に伝わらない場合がありますが、ご容赦下さい。

## ただいま、研究中!

### 効率的で、最適な共同研究開発

～製品化・実用化をお手伝い～

#### 藤間 一美 先生

(工学部 電気電子システム工学科 教授)



先生の研究分野を教えてください。

物理学の分野で原子・分子における電子の散乱や電子の構造計算・解析を行ってきました。これらの知識と技術を使い、コンピュータシミュレーションを用いて、様々な現象の最適化条件を絞り込む研究も行っています。

現在行っている研究開発は?

中小企業との共同研究開発で液晶テレビのバックライトの光源開発を行っています。この研究開発は、保有する技術を活用して液晶テレビのバックライトの効率を上げるという明確な目的があり、最終的な製品化が決まっています。

また、文部科学省の「極端紫外(EUV)光源開発等の先進半導体製造技術の実用化」というプロジェクトにも携わっていました。これは、世界の半導体市場における国際的優位性・国際競争力を確保するために、次世代半導体デバイス製造に不可欠な光源等の技術開発をするものです。

さらに、電子の散乱における知識を光の散乱に応用した研究にも取り組んでいます。例えば、一般的な画像処理は明暗を見分けて形状を認識していますが、物理的性質を見分けられる機能があれば面白いのではと考え、光の状態から物理的な情報を解析する研究を行っています。人間の目は、濡れたタイヤと劣化したタイヤを同じ黒色でも見分けず、生地がすり切れているのかテカっているのかなども認識できます。このような事がコンピュータにより計測できるようになれば、様々な分野に利用できるでしょう。例えば塗装の透明感というのも対象として面白いと思います。

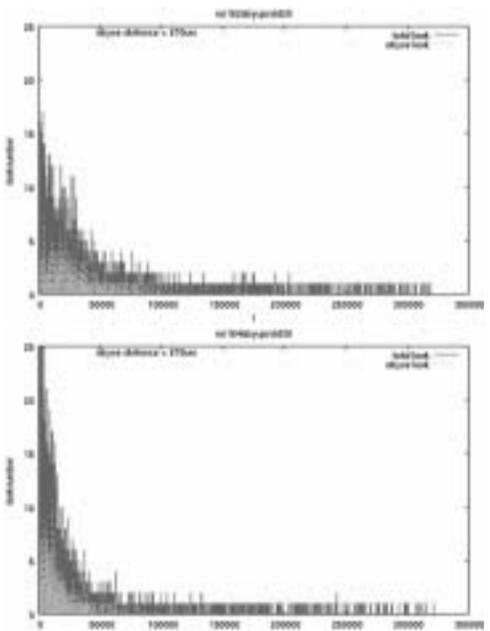
製品化に至った例としては、化粧品の粉体と人の皮膚に関する化粧品メーカーとの共同研究開発があります。人の目は、物質固有の色のみでなくその表面や内部構造によって違った色合いを見えています。これらの色合いの違いは、物理量としては定義されにくい光沢・透明感・きめ細かさといった官能的な言

葉で表現されます。これらの表現状態に物理的な定義や科学的な解釈を与えるため、粉体の大きさ・形状・密度といった物理量を用いて最適な粉体の表現状態をシミュレートしました。これにより制作された粉体は予想された特性を持ち、実験による試作と評価のくり返しを大幅に低減することが可能になりました。

中小企業者は大学にどのように案件を相談したらよいのでしょうか?

大企業の研究開発は予算もあるため、ある程度手広く研究することに意味があり、企業としては1つの結果が成功しなくてもやむなしという姿勢で望むことができます。一方、中小企業は大きさに言えば社運をかけて取り組まなければなりません。「こういう技術をもっているのか新しいことができないか」という案件は非常にリスクを伴います。そこで「こういう製品が欲しい、このようなことができないか」という明確なビジョンが必要になると思います。研究者は、実験実証の前に多くの知識と経験からシミュレートし、全体の可能性の中で最も安定的で最適かつ効率的なところを探し提案することができます。経営者は、製品化まで含め全体が見渡すことができ、この部分を最適化したいというビジョンが明確であり、研究開発に対するある種の勘を備えることが必要となるでしょう。

先に挙げた文部科学省のプロジェクトもそうですが、最終目的・製品化が明確にあって、その実現のために必要な技術・人材を投入するという方式が研究開発形態として主流となっています。従来型の、得意な技術がありそれを応用できる製品等を探すやり方は、目標へのモチベーションが低くなりがちです。実用化・製品化への先見性をもった研究が成功しやすいです。自分の技術に固執せず柔軟な考えが今流だと思えます。



今後の研究開発の方向、テーマは?

実用化・製品化を目指した企業との共同研究を継続して進めていきたいと考えています。他の研究者が思いつような既存技術で応用できる範囲にあるテーマには余り興味はわきません。技術の移り変わりが速い早いハイテクの時代にあつては、特に異分野の様々な人の話を聞くことが次のテーマを探すヒントになるため、常に周りにアンテナを張り巡らしつつ、面白いと思える分野を研究していきたいと考えています。

藤間先生の研究室へのご質問やご相談がありましたら、山梨大学 産学官連携・研究推進機構(TEL:055-220-8755 FAX:055-220-8757)までお気軽にご連絡下さい。

地球環境大切に 荷物と安全運びます



**ストップ温暖化!!**

地球の温暖化が叫ばれています。現に世界各地での砂漠化や異常気象など、私たちの身の回りにも深刻な影響は起きているのです。

私たちトラックも化石燃料を消費し、地球温暖化物質を放出しています。一方でトラックによる輸送は、既に、国内の輸送の約9割を担い、水道や電気と同じように日常生活に欠くことのできないライフラインの一つでもあります。「私たちは人間で言えば血液のようなもの」そんな自負もあります。

だから、私たちは環境に対しても自分たちでできる努力はぜんぶやろうと思います。たとえば、コストの削減効果だけでなく地球にもやさしい「アイドリングストップ運動」や「低公害車の導入促進」そして「環境基本行動計画の策定」など、業界一丸となって取り組んでいます。

かけがえのない自然を責任もって未来に届けるために、私たちは走り始めています。

山梨県トラック協会は「チーム・マイナス6%」を応援しています。

(社)山梨県トラック協会(環境保全対策委員会)  
(社)全日本トラック協会  
後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局



退職金準備等をお考えの経営者の皆様に!

**山梨県中央会共済制度**

- ◎特定退職金制度…  
大企業並みの退職金制度が確立できます。
- ◎総合保障プラン…  
集団扱定期保険により割安な掛金です。



引受会社

**三井生命保険株式会社**

〒400-0031 甲府市丸の内2-8-7 TEL055-224-3172



**情報BOX**



**原油・原材料価格高騰に係る  
下請中小企業向け追加対策について**

平成20年8月5日  
中小企業庁

原油・原材料価格が高騰する中、中小企業は価格転嫁をすることが困難であり、収益が圧迫されている状況を踏まえ、政府は累次にわたり、原油等価格高騰対策を講じてきました。しかしながら、下請かけこみ寺等を通じて把握した取引実態を踏まえつつ、下請代金法の厳格な運用、中小企業の立場に立った相談対応の徹底など、下請取引の適正化等を図る対策を一層推進する必要があることから、以下の対策を8月9日から順次実施することと致します。

- 1 平日の相談時間の延長及び土曜日の相談の実施
- 2 原油・原材料価格高騰時における買いたたきの具体的内容の明示
- 3 下請代金法に照らし問題がある可能性があると考えられる親事業者に対する特別事情聴取の実施
- 4 原油・原材料の価格の高騰の影響が強い業種を中心とした親事業者に対する特別立入検査の実施
- 5 下請適正取引ガイドラインのフォローアップの実施
- 6 厚生労働省からの通報制度の新設

**お問い合わせ先**

経済産業省中小企業庁事業環境部取引課 担当者:池谷、植田  
Tel.03-3501-1511(内線:5291~7)・03-3501-1669(直通)  
URL : [http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/torihiki/080805shitauke\\_gen\\_tsuitai.htm](http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/torihiki/080805shitauke_gen_tsuitai.htm)

技術開発・生産管理・物流管理・経理、財務・経営企画・マーケティング・IT活用・人材養成 等々...

**あなたの知識と経験を活かしませんか!?**

中小企業庁 / 中小企業基盤整備機構 委託事業  
新現役チャレンジ支援事業のご案内

新現役人材(大企業等の退職者及び退職予定のシニア人材)が持つ豊富なスキルやノウハウ、技術などは小規模・中小企業にとっては重要な経営資源になりますが、こうした人材は中小企業の需要に対して大幅に不足しているのが現状です。この事業は、退職後も自らのキャリアを活かして中小企業に対して専門的な支援を行っていただける方と支援を希望する中小企業との橋渡しを行うものです。

山梨県中央会では、この事業の地域事務局として、企業で培った知識や経験を活かしたいと思う方の登録と専門的なアドバイスやサポートを希望する県内の中小企業とのマッチングに取り組んでいます。

この事業は、中小企業庁・中小企業基盤整備機構からの委託を受けておこなうものです。  
また、退職後の再就職支援を行うものではありません。



事業の内容・登録に関する詳細につきましては、お電話でお問い合わせ下さい。

**お問い合わせ先**

新現役チャレンジ支援事業山梨事務局  
山梨県中小企業団体中央会 〒400-0035 山梨県甲府市飯田2-2-1  
TEL 055-236-3301 FAX 055-236-3302 URL:<http://www.shin-geneki-yamanashi.jp/>

YAMANASHI CHUO BANK

**山梨中銀  
ビジネスサポートローン**  
【一般口】【環境配慮口】  
最大3,000万円のスピード対応融資

担保不要 融資期間 最長5年  
第三者保証人 不要 スピード審査  
【環境配慮口】  
※審査の結果、ご希望に添えない場合がございますのでご了承ください。

※審査の結果、ご希望に添えない場合がございますのでご了承ください。  
お問い合わせは、お近くの(山梨中央銀行)の窓口、または下記フリーダイヤルまでお気軽にどうぞ  
0120-201862  
山梨中央銀行

**働きやすい職場の  
雰囲気づくり・体制整備に向けて**

~男性労働者育児参加促進事業(経過報告)~

山梨県中央会では平成19年度より(財)21世紀職業財団の「男性労働者育児参加促進事業」に取り組んでいます。これは、最近よく耳にする「ワーク・ライフ・バランス」の考えのもと、職員の生活の充実、仕事意欲の高揚ひいては経営的な効果を期待するという取り組みです。

第1年度目(平成19年度)は、準備期間と位置づけし、仕事と家庭の両立支援(ワークライフバランス)について及び現状企業が抱える課題についての共通理解を図りました。具体的には、会議や社内回覧による情報の提供及び意見交換、外部の講演・研修への役職員の派遣及び会議におけるフィードバック、その他検討委員会において規程改定を含めた体制整備について話し合いました。

第2年度目(最終年度)となる平成20年度は、体制整備の実施と数値目標の達成に向けた実質的な取り組みを行っていく計画です。具体的には、職員へのニーズ・アンケート調査、育児参加計画書の作成・運用、規程の改善等を実施していきたいと考えています。

両立支援の企業診断ができるファミリーフレンドリーサイトの両立指標の得点は、事業開始当初40点だったものが第1年度終了時95点となっています。今年度更なる得点アップを目指し、働きやすい職場を実現させていきたいと考えております。

会員の皆様も厳しい時代だからこそ、有能な人材の確保と業務効率アップのために、仕事と家庭の両立支援に取り組んでみてはいかがでしょうか。

## 編集後記

9月に入り、食欲の秋、読書の秋...といったいろんな秋の過ごし方がありますが、私はメタボになりつつある体型と北京オリンピックの余韻に未だ包まれていることもあり、今秋は、「スポーツの秋」になりそうです。みなさんはどんな秋になりそりそうですか？

ご意見・ご要望は、中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215

FAX 055-237-3216

E-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

## インターンシップ体験記

山梨学院大学 法学部 法学科 向井 千尋

山梨県中小企業団体中央会で今回インターンシップという貴重な経験をさせていただきました。今までは学生としての目線ですが「働く」ということを見てきませんでした。しかし、今回実際に働いている姿を間近にし、自分も一緒に行動をさせていただき、「働く」ということに対し軽く見ていた自分に気付かされました。学生と同じように社会に出たとしても日々勉強で、知識や技能を身につけ、成長していかなければならないと思いました。

このインターンシップを通じ、まだ自分がどの職業に就くのかはわかりませんが、どこにいったとしても、そこでは何ができるのか、どうすれば成長できるのか見付けていけるような人間になりたいと思いました。

今回このインターンシップでお話をさせていただいた皆様に本当に感謝しています。有難うございました。



## 「けんみん信組 ビジネスローン」

# 事業者向けローン

ご融資期間  
最長5年!!

ご融資金額  
50万円~  
最高500万円!!

スピード  
審査

ご利用いただける方

- 原則として業歴2年以上の法人(協同組合は不可)および確定申告を行っている個人事業主
  - 農林水産業の方も申込できます。(但し、業種によっては受付出来ない場合があります)
  - アイフル株式会社社の保証が得られる方
- ※詳しくは、窓口または営業係までお気軽にご相談ください。

けんみんのグッドパートナー

**YKS 山梨県民信用組合**

甲府市相生1丁目2-34 TEL055-228-5151  
http://www.yamanashikenmin.shinkumi.jp

## やる気と潜在能力のある 中小企業を応援します

YAMANASHI GUARANTEE



## 山梨県信用保証協会

本店 甲府市飯田二丁目2-1  
TEL (055) 235-9700(代)

富士吉田支店 富士吉田市下吉田1832  
TEL (0555) 22-0992

## 情報BOX

### やまなし県政だより「ふれあい」特集号への広告掲載について

山梨県では「ふれあい」特集号への広告を以下のとおり募集しています。

- 1 広告を掲載する媒体...やまなし県政だより「ふれあい」特集号(年4回発行)
- 2 広告枠のサイズ...縦50mm x 横180mm
- 3 掲載料金.....1枠あたり200,000円
- 4 申込み方法...広告掲載を希望される方は、「山梨県広告事業実施要項」、「山梨県広告事業掲載基準」及び「やまなし県政だより「ふれあい」特集号広告掲載要領」をご確認いただき、掲載申請書に必要事項を記入のうえ、県広聴広報課へご持参いただくか、郵送、FAXもしくは電子メールで送付願います。

問い合わせ先 山梨県知事政策局広聴広報課 Tel.055-223-1339

HP: <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/koucho/28301838313.html>

### 第60回 中小企業団体全国大会を 仙台市で開催

毎年1回、全国の中小企業団体の代表者が一堂に会し、その決意を内外に表明するとともに、各分野別専門委員会からの中小企業者の要望等の実現方に努めるとともに、国等に対して中小企業振興施策の確立を訴え、安定的な振興発展を期して開催されるものです。

第60回の開催となる今年度は、11月20日(木)に仙台サンプラザで『連携、拠点、政策発信～躍動する中小企業!～』をスローガンに開催される予定で、本県からは約40名の参加を計画し、9月末までを予定に参加者の募集を行っています。会場の収容力がないため定員になり次第締め切らせて頂きますのでお申し込みはお早めをお願いします。

参加旅程(予定)

▶19日

8:00アピオ発 - 圏央道・外環道 - 11:00大宮 = 東北新幹線 = 2:40仙台 - バス・フェリー(松島) - [泊:松島一の坊]

▶20日

9:00ホテル - 青葉城址・昼食 - 13:30大会 - 東北道・磐越道 - 磐梯熱海温泉 - [泊:ホテル華の湯]

▶21日

9:00ホテル - 野口英世記念館・白虎隊記念館・昼食・鶴ヶ城 - 15:40郡山 = 東北新幹線 = 7:00大宮 - 外環道・圏央道 - アピオ着20:00

### 1組合1組合士 中小企業組合士検定試験の 願書受付が始まりました!!

いま、中小企業組合はガバナンスの充実が求められており、組合員はもちろん、広く社会の信頼を高め、社会的責任を果たすには、組合運営の経験と専門的知識を備えた事務局が必要です。ぜひ組合に『中小企業組合士』を置きましょう。

検定試験概要

- 1 試験科目...組合会計、組合制度、組合運営の3科目  
一部の科目について合格した場合は、その後3年間はその科目の受験が免除されます
- 2 試験日...平成20年12月7日(日)
- 3 試験地...全国20都市  
札幌、青森、秋田、仙台、さいたま、東京、長野、静岡、名古屋、大阪、岡山、広島、松江、山口、高松、福岡、長崎、大分、鹿児島、那覇
- 4 受験料...5,000円(一部科目免除者は3,000円)
- 5 受験申込...願書に受験料を添えて、山梨県中小企業団体中央会へお申し込み下さい
- 6 願書受付...平成20年9月1日(月)~10月15日(水)
- 7 合格発表...平成21年3月2日(月)
- 8 中小企業組合士への手続き...試験合格者には山梨県中小企業団体中央会から組合士認定申請についてご連絡致します。  
受験対策講習会も予定しております。

詳しくは中央会担当指導員または組織課まで。